

日米共同訓練における帯広駐屯地の使用にかかわる市長コメント

本日、防衛省より、来年1月下旬から北海道で日米共同訓練が実施され、帯広駐屯地がヘリコプターの整備や離発着等に使用されると、公表されました。

市民が不安を感じているオスプレイの使用は予定されておりませんが、安全管理の徹底や市民生活への配慮などについて、国に求めていると考えております。

令和元年12月12日

帯広市長 米沢 則寿

発 出 帯広市 政策推進部広報広聴課・総務部総務課
発出日 令和元年12月12日（木） 16:10